

平成27年度

河南町中学生海外派遣事業報告書



シンガポール共和国

平成27年8月2日（日）～8月9日（日）

河南町教育委員会

目 次

☆派遣者名簿	1
☆事業の経過	2
☆派遣日程	3
☆派遣中学生報告	5
東 佐 紀	河 ゆ き	
菅 井 唯 那	登 神 黎	
乾 綾 真	内 海 優 香	
城 野 若 菜	中 島 龍之介	
仲 林 美 結	中 村 百 合	
パンディ沙 羅	松 崎 瞳	
森 口 舞	行 元 建 登	
和 田 真 央		
☆派遣引率者報告	21
山 田 秀 和	堂 上 洋 未	
柳 原 萌 乃		
☆記録写真	25



派遣者名簿

所 属	学年	氏 名
河南町立中学校	3	東 佐 紀
河南町立中学校	3	河 ゆ き
河南町立中学校	3	菅 井 唯 那
河南町立中学校	3	登 神 黎
河南町立中学校	2	乾 綾 真
河南町立中学校	2	内 海 優 香
河南町立中学校	2	城 野 若 菜
河南町立中学校	2	中 島 龍之介
河南町立中学校	2	仲 林 美 結
河南町立中学校	2	中 村 百 合
河南町立中学校	2	パンディ 沙羅
大阪教育大学附属天王寺中学校	2	松 崎 瞳
河南町立中学校	2	森 口 舞
河南町立中学校	2	行 元 建 登
河南町立中学校	2	和 田 真 央
河南町教育委員会事務局		山 田 秀 和
河南町役場		堂 上 洋 未
河南町立中学校		柳 原 萌 乃

事業の経過

月 日	内 容	参加者
5月 1日(金)～ 5月25日(月)	【事業応募開始】 <input type="checkbox"/> 募集定員 20人 <input type="checkbox"/> 応募者 15人	—
5月 8日(金)	【応募者説明会】 <input type="checkbox"/> 事業概要について <input type="checkbox"/> 派遣先について	応募予定者 7組
6月 9日(火)	【保護者説明会】 <input type="checkbox"/> 研修計画について <input type="checkbox"/> 行程について	派遣中学生の保護者
7月 4日(土)	【事前研修会 第1回】 <input type="checkbox"/> オリエンテーション <input type="checkbox"/> 各種手続きについて <input type="checkbox"/> 事前学習について	派遣中学生 派遣引率職員
7月15日(水)	【事前研修会 第2回】 <input type="checkbox"/> グループ別研修について <input type="checkbox"/> 事前学習について	派遣中学生
7月29日(水)	【事前研修会 第3回】 <input type="checkbox"/> グループ別研修について <input type="checkbox"/> 事前学習について <input type="checkbox"/> 現地校でのパフォーマンスについて	派遣中学生 派遣引率職員
8月 2日(日)～ 8月 9日(日)	【シンガポール共和国に派遣】 <input type="checkbox"/> 出 国 <input type="checkbox"/> 帰 国	派遣中学生 派遣引率職員
8月18日(火)	【報告会 準備】 <input type="checkbox"/> 報告会リハーサルについて <input type="checkbox"/> 意見交換会	派遣中学生
8月24日(月)	【報告会】 <input type="checkbox"/> 町長・教育長あいさつ <input type="checkbox"/> 報告会	町長 教育委員 派遣中学生 派遣中学生の保護者 派遣引率職員 ほか

派遣日程

No.	月 日	都 市	旅 程 内 容	
1	8月2日(日)	大 阪 関西国際空港発 チャンギ空港着	08:55 10:55 16:35 19:30	◎集合 関西国際空港 ◎シンガポール航空 (SQ619 便) ◎入国手続き後、専用バスで滞在先へ ◎ホテル着 ・オリエンテーション・夕食
2	8月3日(月)	シンガポール	06:30 07:00 16:00 20:30	◎ホテル発 ◎Woodlandrings Secondary School 訪問 ・オリエンテーション、昼食 ・5クラスに分かれて授業 ◎セントーサ島 散策 ・ウイングスオブタイム鑑賞・夕食 ◎ホテル着
3	8月4日(火)	シンガポール	08:30 09:00 14:00 18:00	◎ホテル発 ◎Woodlandrings Secondary School 訪問 ・クラブ活動 (RoboticsClub) に参加 ・昼食 ◎Nanyang Technological University 訪問 ・現地大学生の案内でキャンパス見学 ◎ホテル着 ・夕食 ・パフォーマンスの練習
4	8月5日(水)	シンガポール	06:30 07:00 15:00 17:30 21:00	◎ホテル発 ◎Woodlandrings Secondary School 訪問 ・交流会 今のキミを忘れない (song) 南中ソーラン (dance) ・5クラスに分かれて授業 ◎United Language Center ・2グループに分かれて Lesson ◎市内観光 ・シンガポールフライヤー乗車、夕食 ◎ホテル着

No.	月 日	都 市	旅 程 内 容	
5	8月6日(木)	シンガポール	06:30	◎ホテル発 ◎Woodlandrings Secondary School 訪問 ・シンガポール創立 50 周年記念行事
			13:00	◎United Language Center ・2 グループに分かれて Lesson ・修了式
			17:30	◎市内観光 ・リパークルーズ、マーライオンパーク
			18:00	◎マリーナベイサンズ到着、夕食
			20:00	◎マリーナベイサンズワンダフル鑑賞
			21:30	◎ホテル着
6	8月7日(金)	マレーシア	07:45	◎ホテル発
			10:00	◎出・入国手続き後、専用バスにて移動
			14:00	◎世界遺産マラッカ訪問 ・チェンソーテン中国寺院 ・セントポール教会など
			20:00	◎ジョホールバルのホテルで夕食
			22:10	◎出国・入国手続き
			22:40	◎ホテル着
7	8月8日(土)	シンガポール	08:30	◎グループ別研修の打ち合わせ
			09:30	◎ホテル発 ◎グループ研修 3 グループに分かれて市内各所を巡る。 ・チャイナタウン ・アラブストリートなど
			17:00	◎ホテル着、夕食
			21:20	◎ホテル発
			21:55	◎チャンギ空港着
8	8月9日(日)	チャンギ空港発 関西国際空港着 大 阪	01:25	◎シンガポール航空 (SQ618 便)
			08:35	◎入国手続き
			10:00	◎解散 関西国際空港

派 遣 中 学 生 報 告

私はシンガポールでたくさんの思い出を作ることができました。その中でも特に印象深く残っているものが2つあります。

まず1つ目です。1つ目に印象に残ったものは水と光のショーです。水と光のショーは違うものを2つ見ました。どれもきれいで感動的でした。光と水のショーは、1つは浜辺で、もう1つはシンガポールの川で見ました。特に印象深く残っている場面は、浜辺で見たショーの最後のあたりで、砂浜一面に模様が映しだされた場面です。なぜなら、とてもきれいだったし、色とりどりだったからです。

次に2つ目です。2つ目に印象に残っているのは、シンガポール最終日にしたグループ行動です。グループ行動は皆初めて外国の地下鉄に乗ったので始めはとても緊張していましたが、いざ電車に乗ってみると、日本の地下鉄よりも複雑ではなく、案外短純なもの



だったのを見やすく良かったです。それに日本の地下鉄で飲み物を飲んでもいいのに、シンガポールの地下鉄で飲み物を飲んだり食べたりすると、50ドルも罰金させられることを初めて知ったので、良い勉強になりました。私たちのグループはチャイナタウンに行きました。チャイナタウンは、他の都市に比べ、比較的物価が安く、とても買いやすかったです。集合時間までに集合場所へたどり着くことができなくて残念でしたが、皆で協力し、とても楽しいグループ活動になったので良かったです。

私はこの貴重な経験を、将来の夢を見つけるための1つの材料として生かしていきたいなと思っています。本当にシンガポールに行くことができ良かったです。



私が今回のシンガポール研修に参加したいと思った理由は、シンガポールの生活や食事などの文化を学びたかったということと、自分が中学校で習っている英語がちゃんと身に付いているか、自分の英語は海外で通用するか試したかったということの二つです。

まずシンガポールにいて驚いたことは、米の味が日本と全く違うことです。それに味付けが辛い料理が多くて、最初はあまりおいしく感じなかったのですが、食べ慣れてくるとだんだんおいしく感じるようになりました。私が食べた料理の中で一番おいしいと思ったのは、チキンライスです。チキンライスは現地の中学生もお勧めの料理なので、シンガポールに来たとき一度は食べるべきだと思います。そして、もう一つ驚いたことがあります。それは、MRTの駅や車内がとてもきれいで、ごみひとつ落ちていないということです。日本では床にガムがへばりついたり、食べ物のごみが落ちているのを見かけますが、シンガポールはガム



禁止、車内での飲食禁止というだけあって、一つもごみを見つけれませんでした。

今回の研修で一番印象に残っているのが、現地の中学校との交流です。現地の中学生はフレンドリーで、緊張してオドオドしている私に、気軽に話しかけてくれたり、名前を呼んでくれたりしました。そのおかげで緊張がとけて、英語で会話を楽しむことができ、本当に楽しくて、時間が立つのがあっという間に感じました。ただ、一つ心残りなことは、バディがせきをしていたので、「大丈夫？」と声をかけようとしたのですが、英語で何と言ったらいいかわからなかったことです。そのとき、自分はまだまだ英語が身に付いていないな、と痛感してとても悔しかったです。

この経験を通して、これからもっと英語を勉強していきたいと思いました。そして、もう一度シンガポールに行って、上達した英語でバディ達と話すのが今の私の夢です。

今回、私は中学生海外派遣事業に行きました。飛行機に乗っているときや初日はとても不安でしたが、いま思うととても良かったな、いい体験ができたなと満足がいく事業でした。今回行って学べたことが二つあります。

一つ目は、シンガポールでは、日本の文化がたくさんあったことです。まず、私が一番驚いたのは車種が日本のものばかりということでした。HONDA、TOYOTAなど世界に有名なものもあつたり、三菱などの日本ではあまり見かけないものもシンガポールにあり、すごく驚きました。あんなに日本の車が高く売れていることがとても嬉しく、なんだか日本にいるみたいでした。日本の文化が外国で大活躍していて、やっぱり日本はすごいんだなあとより感じました。

二つ目は、シンガポールの学生たちと話したり、実際に英語の授業で習ったことを使えたことです。まずシンガ



ポールの学生たちは、とてもフレンドリーで愛想がとても良かったので、すぐに仲良くなれたことがとても嬉しかったです。

ここにも、日本の文化がありました。それはアニメです。シンガポールの学生は、ほぼ全員日本のアニメをよく知っていました。私もアニメが好きなので、アニメの話で盛り上がれて楽しかったです。実際にいま、自分が習っている文法を使ったり、できるだけ英語っぽく発音してみたりしていると、「Oh!!Yes!!」と学生につたわったときはとても嬉しかったです。ただなにげなく習っていた文法や単語も実際に現地ではとても大切な文法や単語なんだと発見もたくさんあり、ほんとうに良かったです。

この中学生海外派遣事業を通して、異文化を肌で感じたり、実際に英語を使って話ができる楽しさ、英語の大切さをとても良くわかり、本当に良かったです。この事業はとても貴重な体験でした。次、また習うときに「あ、ここ。前に使ったやつや！！」と思うと思います。それは英語の興味が出ていることだと母から聞き、とても驚いています。英語の興味がでたのもこの事業のおかげだと思います。本当にいい体験でした。

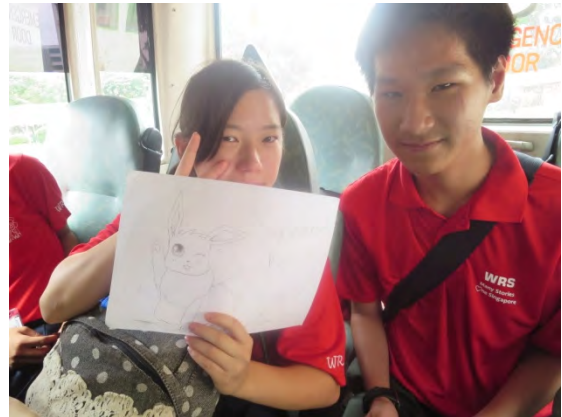
河南町中学生海外派遣事業を終えて

河南町立中学校 3年 登神 黎

私がこのシンガポール海外派遣事業に応募した理由は日本と外国の文化の違いをたくさん知りたかったからと外国の人と友達になりたいなと思ったからです。

シンガポールにつくと、すべてが英語で、ホステルの説明をしてくださった方が話している英語はとてもはやくほぼ聞きとれませんでした。なので、私はこの一週間本当にやっていけるのかなと不安になりました。

シンガポールの人はとても優しく、困っていたらすぐに声をかけてくれました。現地の学校に行くこととても楽しそうなにぎやかな雰囲気です。びっくりしましたがその雰囲気が私の緊張をほぐしてくれました。初日は全然話せなかったけどだんだん仲良くなっていき会話がはずみました。現地校でのフェスティバルでダンスと歌をひろったときはとても緊張したけど最後までやりきれてよかったです。たくさん



ほめてもらえたしこれをきっかけに話しかけてきてくれた子もいてとてもうれしかったです。

わたしはこの中学生海外派遣事業で言葉の大切さを学びました。

これからもっと英語を勉強してたくさんの方と話ができたらいいなと思います。私は将来、小学校の先生になりたいなと思っています。なのでこの経験のこともたくさん生徒たちに話したいなと思います。

このすばらしい経験を一生忘れず何事もあきらめず、積極的に、笑顔で頑張っていこうと思います。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

河南町立中学校 2年 乾 綾真

今回のシンガポール派遣で僕は初めての海外というのと共に、日本以外の文化にふれるとてもいい経験を得ることが出来ました。

そしてその経験の中で驚いたのは、日本との授業の差です。

まず違うのが、日本では黒板を使用するのに対して、シンガポールではモニターを主とした授業を行っているから、時間短縮やチョークの削減がみられとても先進的だなと感じました。

あと、学校で印象的だったのは、クラスに限らず外国人である僕に皆がよくしてくれたことです。皆とても友好的で学校生活を十二分に楽しめていたのだと感じます。更に今でもメールのやりとりを出来る友人をたくさん作れました。

そして、シンガポールで最も長く時間を過ごした寮では、楽しみや驚きを見つけられました。

楽しかった事は、寮の友達とのバスケットボールが出来たことです。文化



や言語は違えど、スポーツでつながれると思った時でした。そして驚いたのはシャワーです。

日本ではばらばらなのに海外では同じ場所にあって新鮮味を感じました。

こんなたくさんの経験が出来たシンガポール、来年も出来るのであれば訪れたいと思います。

最後に、今回の派遣に協力して下さった皆様、無事に帰ってこられたのも、まんきつ出来たのも、皆様の援助あってのものです。本当にありがとうございました。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

河南町立中学校 2年 内海 優香

私は、なぜこの中学生海外派遣事業に行こうと思ったかという将来、海外を渡っていろいろな物を集めて雑貨屋さんを開きたいからです。

なので、そのために子供の時から英語で外国の人とコミュニケーションをとる機会は、滅多にないので今回、ぜひ行こうと思いました。

私が今回の研修に行って一番良かったと思ったことは、友だちはもちろん人との輪が広がったことです。

シンガポールという、いつもと違う環境での生活の中で、バディときちんと会話ができるのか、店での注文や要望はきちんと伝わるのか、寮での友だちとの生活はうまくいくのかなど、人との関わりができるのかを心配していました。

でも、一日目には一緒に研修する仲間として、みんなと楽しく過ごせました。現地の中学校では、バディがゆっくり喋ってくれたり、ジェスチャーをつけてくれたりと、わかりやすく会話することができました。私自身は簡単



な単語を使ってがんばって伝えようとすると、向こうの人たちもがんばって理解しようとしてくれているのがわかってうれしかったです。お店の人たちも、優しくメニューを指差して確認してくれたり、お金の出し方がわからなかったらあと何枚必要なのかを教えてください、知ってる日本語で喋ってくれたり、注文しやすかったです。

日が経つに連れて、最初は全く聞き取れなかった英語が少しずつ聞き取れるようになっていき、自分でも驚きました。

こんな良い経験をこれからの生活にどんどん生かしていきたいと思いました。

とても充実した中学生海外派遣事業でした。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

河南町立中学校 2年 城野 若菜

私は、シンガポールに行くのをとても楽しみにしていました。行く前、毎日のようにカウントダウンをして、当日を待ちかまえていました。そうしているうちに日は過ぎて、当日が来ました。そして、あっとゆうまに飛行機の中で、乗る前までは、6時間なんて長すぎるなと思っていたけれど、飛行機は、映画とか見放題で、ついいっぱい見てしまって、あっとゆうまにシンガポールに着きました。でも、ずっと画面を見続けてたので、めっちゃ酔いました。そして、シンガポールでは、いろんな経験ができました。1日1日が大切な思い出です。いちばん、記憶に残ってるのが、学校生活です。日本とは違うところがたくさんあって、びっくりしました。まず、日本では、夏休みやったのにシンガポールは夏休みじゃなかったってことと授業は50分じゃなくて、1時間だったところとか、三角すわりじゃなくて、あぐらだった



ところとか、黒板じゃなくてホワイトボードだったところとか、書ききれないほどあります。学校も広すぎて、びっくりしました。最初、教室に入るのも、とても緊張していました。でも、机にすわると、周りの子たちがいっぱいしゃべりかけてくれて、ほっとしました。でも、あたりまえのように、すべて英語で、もともと、英語の苦手な私にはぜんぜんわかりませんでした。でも、質問を絵にしてくれたりしてくれたから、とてもわかりやすかったです。そして、学校おわりには、毎日のように観光にいて、毎日、とっても楽しかったです。次に、思い出に残ってるのが自由行動の日です。ほぼ、子供たちで移動して、最初は不安だったけど、地図みたりして、ちゃんと目的地について、いっぱい楽しめました。シンガポールに行ったことは生涯忘れることのない、いい経験になりました。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

河南町立中学校 2年 中島 龍之介

シンガポールに8月2日から9日まで研修に行きました。初めての海外で、最初はいろんな所に不安を感じていました。食べ物や話す言葉、お金など、違うところばかりに目を向けてしまいがちでした。しかし、ホステルではみんなが優しく迎え入れてくれ、ホステルの裏のバスケットボールのコートで、バスケットボールをしました。そのおかげでホステルのみんなと、すぐに仲良くなることができました。

一番印象に残っているのは、現地の中学生との交流です。最初は、僕たちと同じような顔の人が自分とは全然ちがう言葉を使っているということに驚いてました。けれどバディの子にずっと話しかけられているうちに仲良くなりました。先生が何を言っているのかわからない時も、がんばって伝えようと絵を描いて説明してくれました。

2日目のロボットの時間は、いろいろ悩みながら、時にはパーツが足りな



かったりしました。そしてついに、一番乗りで完成と思ったら動きませんでした。バディたちにも手伝ってもらい、最後は少しグダグダで完成したと思ったら、ネジが取れたりといろいろありましたが、なんとか完成しました。

学校でおどろいたのは、やはり給食ではなく、かなり広い食堂でした。すごい人数の生徒がいることと、シンガポールの時間で11時と2時に食べる時間があることです。

それを知らなくて、最初は困惑してしまいました。最後の日はシンガポールが50周年のお祭りで、みんな歌をうたって、シンガポールの旗をふって騒いでいました。いろいろあった学校ですが、とても楽しかったです。他にも、実物のマーライオンが思っていたより小さかったりと、いろいろな発見がありました。今回の研修では、ただ単に外国に行くだけではないおどろきや発見を感じることができました。シンガポール研修では非常に良い体験をすることができたと思います。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

河南町立中学校 2年 仲林 美結

私がこのシンガポール海外派遣に応募した理由は二つあります。一つ目は親、親戚からの薦めです。中学一年生の頃から「来年は絶対応募するんやで！こんな良い体験はもうないかもしれへんで！」と言われ続けていて、「何か楽しそうやな」と思ったからです。二つ目は友達からの誘いです。一年生の頃、「シンガポール行ってみたい」と思っていたけど、二年生になってからは行きたくない」と気持ちが変わっていききました。そんな時私の友達が「一緒にシンガポール行けへん？」と誘ってくれて、友達が一緒だともっと楽しめるんじゃないかと思ったので応募しました。

シンガポールは思った以上に涼しくて過ごしやすかったです。日本より暑いと思っていたけど涼しく、風が気持ち良かったです。寮は日本の宿所に似ていたので臨海に来ている気分でした。学校は日本と全然違いました。扇



風機が大きく風車みたいだったのが一番印象に残りました。ご飯は、チャイニーズヌードルが美味しくて2回くらい食べました。

パートナーと英語でコミュニケーションをとるのは難しかったけど良い経験になりました。

観光ではスターフライヤーに乗った事が一番思い出に残りました。日本の観覧車とはちがって大きく高かったけど綺麗な景色を見れて良かったです。

この一週間の中で英語だけを使って話す事は思っていた以上に難しかったけどまた日本とは違う文化を学べたので良い経験になりました。将来に繋げて行きたいです。

私は、お母さんにすすめられたから、シンガポール研修に応募しました。でもシンガポールに行っているいろんな体験ができたので応募してよかったなと思います。

その中で特に印象に残っているのは、現地の学校のことと、グループ行動です。

現地の学校は私の学校に比べるとほんとに自由だと思いました。授業のはじめは、いすに座ってない人がいたり、授業中に立ち歩いていたり、それでも先生はあまり怒らなかつたりしていました。それに10時30分にはもう昼ごはんを2時にまた昼ごはんを4時間ごとに食堂に行くことができました。シンガポールのごはんは、パサパサしていて、辛いものが多かったのですが、シンガポールに行っているときは日本食が食べたいなと思っていました。

私がおいしいなと思ったのは、シンガポールのジュースでした。でも、アクエリアスが炭酸だったりして驚くこ



ともありました。

シンガポールの学生はみんな元気で私がその学校で行った2、3日間は休んでいる人が多分いなかったと思います。それに男女も仲が良くていい学校だなと思いました。

グループ行動では、アラブストリートとチャイナタウンに行きました。アラブストリートは、昔みたいで裏道とかもあって、きれいなドレスが売ってあったりして、いろんなものを見ることができました。チャイナタウンはお土産を売っているところが多くて、それにとっても安かったです。観光客もアラブストリートと比べると、とても多かったです。

値段や看板が英語で書いていて、分からないこともあったけど、値引いてもらったりして、英語が通じたときはとてもうれしかったです。

シンガポールに行っているいろんなことを体験できたことは私の中でとてもいい思い出になりました。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

河南町立中学校 2年 パンディ 沙羅

私はシンガポールに行くことに全く乗り気では無かったのですが、実際に行くと、楽しくて帰るときにはもう少しいたいと思いました。

4日間、現地の中学校へ行きました。学校で、私のパートナーになってくれた人は、私のために、ゆっくりとしゃべってくれてましたが、授業に参加すると、全く何を話しているのか分からなくて、単語を並べて話すことしかできませんでした。

でも1日目より2日目。2日目より3日目と、少しずつ授業の内容などを理解できるようになりました。

最後の日には、質問されたことにも、短いけど、英文で答えるようになりました。

日本とは話すスピードも発音も全く違っていて、驚いたり戸惑ったりしていたけど、英語が分かるようになって、話せるようになると楽しいなっていました。



シンガポールでは、学校の授業だけではなく、セントーサ島に行ったり、シンガポールフライヤーに乗って、シンガポールを上から見たり、いろんなショーを見たり、買い物をしたりとか、楽しい時間を過ごしました。

これまであまりしゃべった事もなかった人とも、1週間一緒にいて、仲良くなり、学校でもたくさんしゃべれるくらいになるまで、仲良くなれました。

だから、この時期に外国に行き、外国人と話せることができ、また、楽しい時間を過ごせて、本当によかったと思いました。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

大阪教育大学附属天王寺中学校 2年 松崎 瞳

私がこの中学生海外派遣に応募したのは、将来の夢が生物や植物について研究することだからです。研究や発表に英語は必要になるので、勉強したいと思いました。

この海外派遣では、たくさんの体験をすることができました。シンガポールで私達は主に語学学校で英語を勉強し、観光したり、現地の中学校で生徒と交流したりしました。その中で、いくつか心に残ったことがあります。まず、現地の中学校の生徒に混じって授業を受けたことです。授業を受けたことで日本の中学校との大きな違いに気づくことができました。中でも、授業のやり方が私の学校とは違い、板書に、ホワイトボードは滅多に使われず、プロジェクターとプリントだけで授業を進めていました。また、授業を受けたことによってバディ以外の生徒とも言葉を交わすことができました。それだけではなく、現地の中学校でも、私達が泊まった寮でも、フレンドリーな人



ばかりで、積極的に話しかけてくれました。おかげで、英語圏ということをおまわり気にならず自然に英語で会話することができました。初めて会って少ししかたっていない人と英語で会話できたことは嬉しかったし、楽しかったです。それに、シンガポールに着いて英語にふれる機会が増えたことで、現地の人の速い英語を聞き取れるようになっていき、わくわくしました。現地の中学校で参加した五十周年記念行事では、皆楽しそうに大きな声で歌ったり、大きく旗を振ったりしていました。日本とは違う積極的な姿勢だったので、こんなところにも国の違いがでるんだな、と思いました。

現地の人とふれあうことでその国の文化を理解していけると思います。でも、単純な文章は伝えられたのに、単語が伝えられず、言葉に詰まってしまったこともあったので、単語だけでもたくさん覚えていきたいです。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

河南町立中学校 2年 森口 舞

私がこの河南町中学生海外派遣事業に参加しようと思った理由は、二つあります。

一つ目は、クラブの先輩三人が、昨年に参加して、「楽しかった。」「すごく良い経験になった。」と教えてくれたので興味を持ったからです。

二つ目は、私は英語が苦手なのでシンガポールへ行き、生の英会話を経験することで、少しでも苦手を克服できたらなと思ったからです。

実際、この事業に参加してシンガポールへ行くと、すべてが英語で、買い物するだけでも、すごく大変でした。

シンガポールの中学校では、少ししか英語を話すことができない私のために日本語を勉強して簡単な会話ができたり、パソコンを使って会話をしたり、漢字とひらがなを使った手紙をくれたりとても親切な人ばかりですごく楽しくて勉強になった時間でした。

たった一週間しかいない私達のためにここまでしてくれて本当に感謝して



います。もし、シンガポールの人だけではなく、世界の人達が河南町に来てくれるようなことがあった時には、私が現地の中学校でしてもらったように精いっぱい準備をして歓迎したいと思っています。

今回、シンガポールに行って学んだことを、これからの中学校生活、今後の自分の人生に活かしていきたいと思っています。

この一週間、日本では経験することが出来ないことをシンガポールでは、たくさん経験することができました。

私は、コミュニケーションをとることが苦手でしたが、シンガポールへ行き、現地の中学生達と交流することで少し克服できたような気がします。

これから、英語をたくさん勉強して、また海外に行きたいです。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

河南町立中学校 2年 行元 建登

僕は、8月2日から8月9日の1週間。シンガポールに行きました。

行く前は、とても不安で、とても緊張していました。

現地に到着して、自分が思っていたより、外国人の人を見ると、とても緊張しました。

滞在するにつれて、だんだん宿舎の人たちとも、しゃべるようになりました。

でも僕にとって1番不安だったことは食事と飲み物です。

初日の夜、ご飯を食べてみると、日本の米とは、まったく、味が違うなあと感じました。

翌日には、現地の学校に行って、現地の中学生と交流をしました。

自己紹介のときは、何を話していいのかわからずに、パニくりました。

でも、僕のパートナーは、とてもやさしくて、いい人でした。



最終日は、グループのメンバーでいろいろなところに行ったりして、とても楽しかったです。今回の中学生海外派遣事業では、とてもいい経験をすることができました。

この経験をどんどん活かしていきたいと思いました。

シンガポールに行きたいと思った理由は、私は英語が好きなので将来、英語関係の仕事に就きたいと思っています。そのためには英語が好きだけでは無理なので、得意にしないとイケません。だから留学などをして、生の英語にふれて色々な体験をして学びたいと思いました。

シンガポールに行く前は、楽しみという気持ちもあったけど、「英語ほんまにしゃべれるのかな。」という不安のほうが大きかったです。シンガポールに着いて1日目は英語が聞きとれず苦労したけれど、だんだんシンガポールの生活に慣れて不安は消えました。

シンガポールでの生活は大きく分けて2つありました。1つは学校へ4日間通いました。シンガポールの学校は河南中とはちがって朝早くから始まるので、朝起きるのが辛かったです。向こうの学校に行ったら1対1でパートナーがついてくれました。他のパートナーは英語ばかり話すのかなと思って



いたけど少し日本語も話してくれました。私のパートナーはあまり日本語を話さなかったの、通じるのかなと思いました。答えたりするとき、ジェスチャーなどを使いました。難しかったけど伝わった時はうれしかったです。

2つ目は観光したことです。セントーサ島やマリーナベイサンズへ行きました。セントーサ島ではすごく大きいマーライオンを見ました。それからショーを見ました。水や光を使ったイルミネーションは真っ暗な夜空に浮き上がっていて、とてもきれいでした。

マリーナベイサンズでは観覧車に乗りました。一周するのに30分かかりました。最終日の班行動は、とても広くいろいろな物が売っているチャイナタウンへ行きました。

家族や友達へのお土産を買うことができ、皆に喜んでもらえて良かったです。この一週間とても楽しくていい経験になりました。このような機会があればまた行きたいです。

引 率 者 報 告

河南町中学生海外派遣事業を終えて

河南町教育委員会事務局 山田 秀和

平成27年8月2日(日)、中学生15名と引率者3名の計18名は、関西国際空港に集まり、多くの保護者や関係者に見送られながらシンガポールへと向かい、8日間にわたる河南町中学生海外派遣事業が始まりました。

シンガポールは、アジアの中心に位置し、中国系やインド系、マレー系といった様々なアジアの文化だけでなく、欧米系などの西洋の文化が混在する、世界の縮図のような都市国家です。

また、近年の経済成長も目を瞠るものがあり、アジアの発展を象徴するような国とも言えます。

さて、今回の事業を通して、3つの大きな成果があったと思います。

まず言葉の壁を感じながらも、生徒一人ひとりが精一杯に自分の思いを伝えようとする姿が多く見られたことです。

始めは、誰もが慣れない環境の中で、身振り、手振りで何とか対応している様子でした。

でも、少しずつですが、積極的に自分から働きかけていくことの大切さに気づきはじめ、どうしたら自分の思いが伝わるのかを一生懸命に考え、コミュニケーションを図ろうと頑張っていました。

一日の振り返りの中で、会話といえども、改めて、英文法の大切さを認識していた生徒もいました。

次に、シンガポールの文化について、直接、触れることができたことです。

食生活や生活習慣、歴史などについて様々な施設を訪ねることを通して知ることができました。

事前学習において、シンガポールについての基礎的な知識は学習済みでしたが、現地での体験は知識としての理解で終わるのではなく、体を通しての理解に繋がったことだと思います。

最後に、外国での生活を体験する中で、改めて、日本について考えることができたことです。

食文化や生活習慣の違いなど、現地生活してみてもはじめて分かったことがたくさんありました。

また文化の違いばかりに目が向けられがちになりますが同じアジアの文化圏に属する日本の文化とよく似たところについても知ることができました。

今回の河南町中学生海外派遣事業での経験は、何事にも代えがたい貴重な経験となり、参加した生徒、一人ひとりの一生の宝物として自分の生涯の糧となることだと思います。今後は、今回の事業の経験を活かして、何よりも英語力の向上、そして、日本の伝統や文化をはじめ、多くのことを学びながら、常に、国際感覚を持ち合わせながら成長してほしいと思います。

最後になりましたが、河南町中学生海外派遣事業が有意義に全日程を終え、15名の生徒たちが、このようなすばらしい体験ができたのも、様々な関係者の皆様に支えられて実現できたことと心より感謝申し上げます。

今回の海外派遣事業に引率し、私自身が感じた事業の特徴と成果について報告させていただきます。

まず、現地校ではペアとなるパディに連れられ、現地の生徒と同じように学校生活を過ごします。通訳もなく、日本語で授業してくれるわけでもなく、いち生徒として通常通りの学校生活を共にするという点が大きなポイントです。何を話しているかもわからず、はじめは不安と緊張が高かった生徒たちも、異国の学校生活へ飛び込んでみると、受け身では何も始まらないということに気づき、自分発信の主体的なコミュニケーションの繰り返しで自然と英語を身につけていったように思います。英語がうまく話せなくても、ジェスチャーを交えたり、絵で伝えたり、アニメやスポーツなど共通の趣味を通じるなど、あらゆるコミュニケーションツールを使って、生徒同士が互いの距離を縮め交友関係を築いていました。通じ合ったときの喜びを直接感じる成功体験が、自信となりさらに生徒の向上心を高め、積極的な関わりが語学力を高めていったと感じます。日に日に目に見えて大きく成長していく生徒たちの姿は眩しくとても頼もしかったです。柔軟性に長け適応力・吸収力が高い時期に、親元を離れ経験することで、与えられるばかりでなく、「自分で考え行動し学ぶ力」が身につき、一

回りも二回りも成長したと思います。

また、毎食のシステムも語学力の習得に大きな影響力がありました。各自好きな店で好きなものを食べるというスタイルは、自分の欲しいもの選び相手に伝える力、相手の質問を聞き取る力が必要となり、そういう対話がネイティブ英語に臆することなく慣れ親しむきっかけとなったはずです。

さらに、海外派遣事業は語学力の向上を目指すだけではありません。今回はシンガポール生誕 50 周年ということもあり、より深くシンガポールの文化に触れる貴重な時間でした。現地での生活や食べ物、文化などを五感で学ぶと同時に、日本との違いから改めて日本の文化についても考える機会を得ることができたと思います。

研修終了後も現地学生との交流が続いているなど、研修期間での学びにとどまることなく更なる進展があることにも、今後の可能性に期待が胸膨らみます。この研修での様々な経験を通し学んだことが、学生一人一人の今後の人生の何かのきっかけとなると嬉しいです。この経験を活かし皆さんの更なる活躍を祈っています。最後に、私自身も引率の中で日々たくさんの経験と学びをさせていただけたことに感謝しております。ありがとうございました。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

河南町立中学校 柳原 萌乃

今回の海外派遣事業は、生徒たちにとって、たいへん貴重な経験となりました。9日間の中で、一番印象に残った出来事といえば、現地の生徒たちとの交流ではないでしょうか。この場を借りて、彼らの様子を報告したいと思います。

初めて、現地の学校に行った日のことです。自分のパートナーとなる学生（バディ）が出迎えてくれましたが、どのように声をかけてよいか分からず、固まってしまいました。そんな時、同行者の一人が言いました。

「君たちから声をかけないと、バディもどうしていいか分からないよ」

その一声をきっかけに、自分からバディのもとへ歩み寄りしました。最初の2日ほどは、英語漬けの授業とバディに付いていくことで精一杯といった様子でした。休み時間には、友だち同士で固まって、自分たちの世界に入ってしまう。寮に帰ると「もうしんどい。帰りたい」「はよ終われへんかなあ」と弱音を吐いた生徒もいました。

バディと打ち解けてきたころ、彼らに大きな変化が見られました。友だちとの会話の中で、バディに関する話をしたり、英語を使って会話をしたりすることが増えてきたのです。また、休み時間になるとバディと楽しそうに会話をする姿も見られました。日に日に、バディたちとの距離が縮まっていくの



を感じました。

最終日には、シンガポールのナショナルホリデーということで、校内でパレードや式典、寸劇などが行われました。盛大にお祝いをして楽しんだ後は、バディたちとの別れを惜しみました。私たちを乗せたバスが出発すると、バディたちは横一列に並び、バスが見えなくなるまで手を振ってくれたのでした。そんなバディたちの姿を見て、涙ぐむ生徒もいました。

今回の派遣事業を通じて、英語を学ぶ姿勢が、以前より前向きになったと実感しました。なぜなら、彼らの表情から「楽しい」という気持ちがにじみ出ていると思ったからです。英語が苦手だからと自信がなかった子も、徐々に自信をつけていった様子でしたから。

現地での経験や自信を糧にして、将来の夢に向かって突き進んでほしいと思います。夢を実現するその日を、楽しみに待っています。

記 録 写 真

平成27年度 河南町中学生海外派遣事業 事前研修会 第1回



01 緊張の初顔合わせ



02 自己紹介



03 シンガポールを学ぶ



04 添乗員が注意事項を説明



05 アイスブレイク



06 英会話レッスン

平成27年度 河南町中学生海外派遣事業 事前研修会 第2回、第3回



01 グループ別研修打合せ (GroupA)



02 グループ別研修打合せ (GroupB)



03 グループ別研修打合せ (GroupC)



04 英会話レッスン



05 英会話レッスン



06 英会話レッスン



01 笑顔でシンガポールへ出発



02 飛行機内での様子



03 チャンギ空港へ到着



04 入国審査も準備万端



05 ホステルでのオリエンテーション



06 ホステル近くのコンビニで買い物



01 現地中学校へ緊張の初登校



02 バディとの交流会



03 校内オリエンテーション



04 授業に参加



05 セントーサ島を散策



06 “WING of TIME” を鑑賞



01 Robotics Clubに参加



02 アイスブレイク “スプリットゲーム”



03 ラジコン製作



04 ラジコンのプログラミング



05 現地大学のキャンパス見学



06 前夜のパフォーマンス練習



01 パフォーマンス①歌披露



02 パフォーマンス②南中ソーラン



03 授業の様子



04 語学レッスン



05 シンガポールフライヤーにて

平成27年度 河南町中学生海外派遣事業 5日目（8月6日）



01 現地中学校でのシンガポール50周年記念行事



02 バディとお別れ



03 ドリアン初体験



04 語学レッスン修了



05 マーライオンパーク散策



06 マリーナベイサンズワンダフル鑑賞



01 マレーシアへ出国の大渋滞



02 マラッカ訪問①



03 マラッカ訪問②



04 マラッカ訪問③



05 マラッカ訪問④



06 マラッカ訪問⑤



01 グループ別研修 GroupA①



02 グループ別研修 GroupA②



03 グループ別研修 GroupB①



04 グループ別研修 GroupB②



05 グループ別研修 GroupC①



06 グループ別研修 GroupC②



01 飛行機内での様子



02 関西国際空港では歓迎準備



03 一回り成長した15人でした☆

平成27年度 河南町中学生海外派遣事業 報告会（8月24日）



01 いよいよ報告会



02 みんなの報告を楽しみにしています



03 司会進行



04 中島さんによる報告



05 菅井さんによる報告



06 みんな笑顔で

編集・発行 河南町教育委員会事務局 教・育部 教育課

〒585-8585

大阪府南河内郡河南町大字白木1359-6

TEL 0721-93-2500

FAX 0721-93-7560

発行月 平成28年 3月

